

くらき永田保育園便り



一生の思い出になるようなお泊り会が無事に終了しました。今年度はコロナ禍の影響で制限されていた「体験」と「交流」を取り戻すことを目標に保育していることもあり、職員一同、大変さと同時に充実感も感じています。

さて、過去に例のない危険な暑さが続き、熱中症アラートの情報とにらめっこの毎日が続いています。お昼寝時間帯にはスズメ達が園庭の水たまりで水浴びし、また、シェードの下の日陰ではカラスが気持ちよさそうに涼んでいる姿が見られます。人間だけでなくすべての生き物が暑さに対応しているようです。8月は子どもたちも水とたくさん触れ合い、そしていっぱいカラダを動かす季節です。この時期に楽しく遊んだ遊びが運動会にもつながってきますので、「カラダを動かすのが楽しい」感覚が身につけてくれたら最高です。

小学校が夏休み期間に突入したこともあり、家族との時間をとるためにお休みする園児も見受けられるようになりました。「家族との楽しい思い出は夏が多い」データを見たことがあります。保育園のお泊り会や夕涼み会もそうですが夏という季節に家族や友人といった大切な人と過ごす時間は子どもたちにも特別感があるのでしょうか。

8月は職員も交代で研修に参加したり、夏季休暇を取得できるようシフトを組んでいます。そのため、例年通り、園児数に応じて合同保育の形態をとるなど、普段と違った保育室での活動となる日も出てきますのでご了承ください。また、給食の食材発注の関係がありますので、お休みの予定がわかりましたら担任までお知らせください。

昨年に引き続き8月26日(月)に「夏祭りごっこ」を行います。すくすく・異年齢クラスは、甚平または浴衣で登園しても大丈夫な特別な日となります。 盆踊りやゲーム、お店屋さんも登場する子どもたちちゅプレゼンツのイベントの一つです。子どもたちも参加するだけでなく、参加・参画して当日に至るまでの期間を楽しみたいと思います。また、当日は湘北短大の学生さん20名がボランティアで参加してくれるのでにぎやかな一日となりそうです。

『こどもまんなかテラス』

10月26日(土)に保育園児だけでなく卒園児や地域の子育て世帯も楽しめる『こどもまんなかテラス』というイベントを行います。様々な廃材を使ったアップサイクルのワークショップ、オーガニックな食品や美味しいフードコーナー、園庭では様々なショーが行われ、エンディングにはシャボン玉兄弟によるパフォーマンスもあり、親子で一日楽しめる企画を準備中です。当日は運動会や発表会と同様、親子で楽しむようにしたいので原則通常保育は無しとしますので仕事の都合上どうしても保育が必要な方は事務所までご相談ください。

今月は『危ない！の体験も保障します』がテーマです。

子どもたちは大人と比べるとスーパーポジティブな存在です。転んでも、ぶつかっても楽しいと感じたらチャレンジすることに躊躇がありません。大人から見たらハラハラドキドキの連続ですが、危ないから禁止したり、行動を止めてばかりでは、成長の意欲がそがれてしまいます。今月は、保育士が安全を確保しながらも子どもたちの成長のためのチャレンジをどのように保障しているのかをお伝えします。



ににこ

入園したばかりの4月と比べると、活発に身体を動かして遊ぶ姿が増えてきたににこさん。まだ寝返りができなくて仰向けでいた子がずり這いができるようになったり、四つ這いで移動していた子が歩くことができるようになったり、できることがどんどん増えて、嬉しそうに身体を動かしています。とは言うものの、身体の機能はまだまだ発達途中で不安定なので、遊びを見守っていると「危ない！」と感じる場面も多くあります。つい止めたくなることもあります。そこはぐっところえて、安全に配慮しながら見守るようにしています。その結果、思うように出来なくて涙を流す姿もよく見られていますが、その後も諦めずに挑戦する子どもたちを見てみると、はたから見ると危ないと感じるような行為でも、それを経験しながら身体の動かし方を学んでいるのだと感じます。お家でも「こんなことができるようになった」「こんな遊びをしていた」などのエピソードがあれば、是非教えてください！





よちよち

ジャンプすることや走ることなど身体を動かすことが楽しくなり、ホールや室内でも楽しそうに走る姿がよく見られるようになってきました。周りに友だちがいることから、つい危ない！と止めてしまう場面も多くなってしまっているのですが、子どもたちのやりたい！という気持ちを受け止め、走りたい気持ちの時には、保育者がサーキットを作ったり、一緒に走って方向（一方通行）を決めてぶつからないように工夫しています。また、登ったり、飛んだりしたい時には、牛乳パックの巧技台などジャンプできる環境を作り対応しています。一方、身体の運動機能が発達してきている反面、まだまだ未熟な部分もあるので、保育者が近くで見守りながら「やりたい！」という気持ちと「できた！」の達成感を受け止めるように心がけています。



すくすく

身体を動かして遊ぶことが好きな子どもたち。雲梯や巧技台など、上にのぼったり、ジャンプして降りたりと身体全身を使って楽しんでます。そういった場面において保育士は必要以上に手を貸すことはせずに見守ることを大切にしています。子どもたちが自分自身で「ここまでは大丈夫」と登っていく姿を、何かあった時にはすぐに受け止められるような位置で見守っています。自分で身体を動かしながら、登っていき、嬉しそうな表情で「みてみてー！」「高いよ！」と保育士に伝えてくれています。下に降りる時に、「おりれない～」と泣き顔になってしまうこともありますが、その時には、保育士が「ここに足をかけてみたらどうかな？」「こっちに掴まってみたら降りられるよ」等と言葉で伝え、身体を動かして自分で降りてみる姿があります。大人から見ると、「危ない」と感じることも、子どもたちにとっては大事な経験となります。高いところに上ることができた時や、ジャンプできた時などに、「できた！」という嬉しい気持ちをこれからも子どもたちと一緒に共有していきたいと思えます！





異年齢

園庭にある大型遊具は一見危険なのでは？と思ってしまう所があります。例えば、ジャンプ台に行くまでには遊具の外側に身を乗り出さなければいけなかったり、ぐるぐる滑り台に行くには高い壁を越えていかなければいけません。また、園庭にある緑色のポールも一番上まで行くととても高いです。子どもたちは初めはドキドキしていますが、次第に「やってみたい」という好奇心の方が強くなり果敢に挑戦をしています。その「やってみたい」という気持ちと安全を保障するにあたり、職員間で統一していることがあります。それは、大人が持ち上げて乗せてあげるサポートはしないということです。なぜかという、子ども自身に上る力がないのに大人が乗せてあげてしまうと何かあったときに自らの力で対処できず逆に怪我に繋がってしまう可能性が高いからです。子どもが自分の力で上り下りができるようにカラダの使い方を伝えたり、励ましながら保育士は子どもたちの姿を見守っています。

保護者のみなさまにもきっとドキドキさせてしまうことがあるかと思いますが、温かく応援していただけると嬉しいです！



給食室

今年度、給食室では、子どもたちと食材との関わりを増やすために、給食室のお手伝いとして調理に参加し、実際に子どもたちが食材にふれるような機会を作っています。これまでも、グリンピースの粒を房から取り出す、味噌汁に使うしめじをほぐすなど、いろんな形で調理に参加してもらいました。

7月はおやつに使うとうもろこしの皮むきのお手伝いを全クラスにお願いしました。皮をむく前のヒゲいっぱい姿、火を通す前の生のおい・色・手触りを楽しみながら、お手伝いしてくれました。また、おやつで出てきたときには、においや色、食べやすい大きさ・形になっていることなど、色々な変化に気づき、楽しい時間になりました。

今後も、その季節の食材を使い、子どもたちの成長に合わせながら、いろんなお手伝いを企画していきます。子どもたちからの「〇〇したよ〜！」「〇〇のお手伝いなら任せで！」などの報告を楽しみにしていきましょう。



遊言育係より

6月から各クラス毎に回覧絵本を始めました。乳児クラスの保護者の皆さまから頂いたコメントを見ると親子での絵本タイムを楽しんでいただいている様子が見え温かい気持ちにさせてもらっています。また、年長クラスのいきいきさんは今年度のクラステーマ『アベコベさん』の絵本を回覧しています。お泊り会でも『アベコベ国でのパーティーに参加したり、子どもたちの合言葉「アベベ コベベ パンパンパン」など絵本からイメージした独自の言葉を生み出すなど、子どもたちと絵本の関わりが密になっていることも感じられました。今でも反対言葉を楽しんでいますよ。

10月には第2段の回覧絵本がはじまりますのでお待ちくださいね。

絵本コーナーや、2階ホールの壁に各クラスの職員が選んだおすすめ絵本の紹介をさせていただいている掲示をみていただいていますか？

絵本選びの参考にしてみてくださいね。

* 貸出日

火曜日…ににこにこ組・すくすく組・いきいき組、

水曜日…よちよち組・のびのび組・わくわく組

★色々なジャンルの絵本がたくさんありますのでお立ち寄りください。



今月の行事

9日(金)	野菜マルシェ
11日(日)	山の日
12日(月)	振り返り休日
17日(土)	布団乾燥
26日(月)	夏祭りごっこ
27日(火)	野菜マルシェ
28日(水)	クーベルチップ絵本マルシェ(16:30~)